

【様式①】令和6年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立岩野田北小学校

校長名 各務 至

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校・家庭・地域における、目指す児童像の共有と、その実現に向けた教育課程の編成及び実施。</li> <li>年間の見通しを明確にした、ICT機器を効果的に活用した授業実践。</li> <li>人権意識を高めるカリキュラムマネジメントの構築と、それにもとづく主題研究の実施。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりや学年だよりを積極的にHPに掲載するなど、保護者や地域とめざす子ども像を共有し、子どもたちを支援することができた。</li> <li>「みんなと学び合えてよかった～伝えよう自分の思い わかろう仲間の思い」をキーワードに掲げ、互いの存在を大切にする人権教育の推進に努めた。</li> <li>&lt;英語&gt;</li> <li>ALTと連携を図り、子ども達が英語を楽しんでいる授業の工夫をし、英語でのコミュニケーションを積極的に取り入れた。その結果「英語でのコミュニケーションが楽しい」と答えた児童が80%となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が仲間を大切にしながら、落ち着いて話を聞いたり、話したりしている姿が見られ、人権意識が高まっていると感じる。</li> <li>今後も互いを思いやりながら、他者ともよりよく関わり合える児童を育てていきたい。</li> <li>&lt;英語&gt;</li> <li>授業の充実に加え、校内の英語に関する掲示や環境を整え、日常的に英語に触れるようにしていくとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりや学年だより、HP等を利用し、積極的に学校の様子を発信していく。</li> <li>焦点を絞った全校研究会、職員研修等を通して、情報共有や授業改善に努める。</li> <li>&lt;英語&gt;</li> <li>子ども達がさらに英語に親しみ、英語でのコミュニケーションが楽しいと思えるように、環境の工夫をしたり、授業改善に努めたりしていく。</li> </ul>
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校区での挨拶活動や教務主任や生徒指導を核にした小中一貫教育の推進。</li> <li>ぎふMIRAI's構想具現に向けた地域から学ぶ学習活動(生活科・社会科・総合等)における資源や人材の活用。</li> <li>幼保小の連携・協力を旨とした、実りある連絡協議会や学校運営協議会の実施。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中連携として合同あいさつ運動を実施し、あいさつを活性化することができた。また、幼保小連携として、1年生と合同授業を行い、小学校へのスムーズな接続が図れるようになった。</li> <li>総合的な学習や生活科の学習では、積極的に地域の方を講師として活動を仕組んだ。また、見守り隊に毎日の登下校の見守りを依頼し、学校と地域が連携して安全な登下校を実施することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間を中心に、地域の人・もの・ことについて学ぶ機会を積極的に取り入れ、学校と地域が連携し、地域のよさを実感し、地域を愛する心を育てていきたい。</li> <li>地域や家庭、学校が具体的な児童の姿を通して意見交換をし、三者一体となって児童を育てていきたい。また、人と人の関わりをより確かなものとしていけるような取組を地域として工夫していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度、向上したあいさつの姿を、次年度も継続できるよう、児童会を中心とする子ども達の自主的な取組を、保護者と共に支えていく。</li> <li>児童の願いや実態、つけたい力を明確にし、総合的な学習や生活科の学習でどのように地域の資源や人材を活用していくのか、地域と学校で継続的に議論を重ねていく。</li> </ul>
あたたかさど働きがいあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門スタッフやコミュニティ・スクール等の地域人材の積極的な活用。</li> <li>授業や行事等における具体的な児童の姿や事例を通して学級経営を学ぶ合うことによる生徒指導力の向上。</li> <li>学校運営協議会やPTA、地域からの意見や情報を活用した学習指導や学級経営改善の取組の実施。</li> <li>「チーム岩野田北」を合言葉にした温かい職員集団の創造</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>書写や読み聞かせ、野菜作りなど、地域の人材を積極的に活用した。年間を通して、多くの人が学校教育に関わった。</li> <li>学校運営協議会や支援推進委員会にて児童の様子を参観していただき、意見交流を行った。そこで出た意見を速やかに職員に共有し、指導の充実及び改善に生かせるよう試みた。</li> <li>「チーム岩野田北」を合言葉に、課題を皆で共有し、チームで児童に関わることを大切にしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの地域ボランティアが、地域の宝である子ども達を育成するために尽力したいという思いで関わっている。これからも学校と願いを共有しながら、共に歩んでいきたい。</li> <li>学校運営協議会や支援推進委員会の方々や保護者に授業参観等で実際に子ども達の姿を見ていただき、子ども達の成長や課題を共有することを大切にしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も学校・家庭・地域でめざす子ども像を共有し、様々な資源を活用しながら指導にあたり、積極的に学校運営に参画していただくことで、チーム学校を実現する。</li> <li>学校の活動を積極的に公開し、地域や保護者からの意見を聞きながら、よりよい学級づくり、学校づくりに努める。</li> <li>子ども達を第一に考え、愛情をもって接することができる温かい職員集団を目指し、校内で丁寧な研修、研鑽を積んでいく。</li> </ul>
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分の命は自分で守る、自分の健康は自分でつくる」児童を育てる指導の工夫。</li> <li>いじめ事案に対する迅速な対応といじめ未然防止の取り組みの充実</li> <li>緊急時の教職員の共通理解、共通行動の徹底と地域組織との連携の在り方の見直しの実施。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここタンの活用と見届け、SOSアンケートやいじめアンケートをもとに、丁寧に教育相談を行った。そこで把握した事案については校長のリーダーシップのもと、いじめ対策監を中心として組織的に迅速な対応を行い、即日解決に努めた。</li> <li>職員の危機管理意識を高めるために、各種研修を定期的実施した。</li> <li>様々な災害を想定した防災教育を実施し、自分の命を自分で守ることができる児童の育成に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員がいじめ事案を即日解決することや、一人ひとりの子どもに丁寧に寄り添う姿勢が徹底している。いじめについては、子ども達が本音を話せるような環境づくりと人間関係の構築が大切である。今後も、家庭と学校で、子ども達の思いに寄り添っていききたい。</li> <li>地域の方を講師として防災教育を実施し、地域全体で防災意識を高めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年に一度行う、中学校区で連携した引き渡し訓練や地域で行う防災教育の実施に向けて、中学校区で連携を図り、実現をしていく。</li> <li>すべての児童が「いじめは絶対にいけないことだ」という意識をもつことができるよう、家庭と連携を図りながら取組を行ったり、児童主体の取組を実施したりしていく。</li> <li>生徒指導上の問題やいじめ事案について、迅速に複数で対応し、情報を共有すると共に、家庭との連携を密にして一人一人の子どもに丁寧に関わっていく。</li> </ul>
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインの観点に基づいた教室環境づくり。</li> <li>管理職や校務主任、校務員を中心とした、安心・安全な教育環境を維持する点検整備の確実な実施。</li> <li>教育効果を上げるための適切な予算執行。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理意識を高くもち、校舎施設の点検を丁寧にを行い、事故の未然防止に努めるとともに、危険個所については校務主任によるとりまとめ、管理職への報告、校務員による修繕、または市への報告と、常に迅速な対応を心がけ、校内環境整備に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTAや地域の人材を活用し、安全点検を行ったり、危険個所の修繕を行ったりし、より多くの力で安心安全な教育環境の整備に努めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTAや地域など、多くの目で教育環境を見つめ、児童の心身ともに健全な育成に資するための改善や物品の購入を進める。</li> <li>老朽化による危険個所が増えてきているため、発見時には速やかに市への報告及び修繕要望の提出を行い、環境整備に努める。</li> </ul>

HPアドレス: <http://gifu-city.schoolcms.net/iwanodakita-e/>